公益財団法人愛知県文化振興事業団

平成３０年度事業報告

平成 30 年度事業報告　目次

Ⅰ　平成 30 年度事業総括　3

Ⅱ　公益目的事業　4

１　芸術劇場の管理運営　4

芸術劇場の利用状況
利用者サービス向上への取り組み

２　自主事業の企画制作　4

公演事業
人材養成事業
普及啓発事業
その他

３　愛知芸術文化センターの管理運営等　２０

広報・マーケティング
アートプラザの運営
アートスペースの運営
施設管理・防災
他団体との連携・交流

Ⅲ　収益事業　２３

プレイガイド

Ⅳ　法人運営　２４

理事会・評議員会の開催状況
組織体制

Ⅴ　資料　２６

Ⅰ　平成 30 年度事業総括

当事業団の設立目的である、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携のもと、各種の文化事業を実施しました。また、愛知芸術文化センター（以下「センター」という。）の指定管理者として、センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を引き続き行いました。

芸術劇場等の管理運営にあたっては、ホール等の利用許可から公演当日まできめ細やかなサービスを行い、愛知からの芸術文化の発信と優れた舞台芸術公演に親しむ機会を県民に提供しました。

自主事業の実施にあたっては、家族で楽しめる「ファミリー・プログラム」、質の高い多彩なジャンルを展開する「愛知芸文フェス」、先駆的・実験的で創造性に満ちた「ミニセレ(Mini　Theater Selection)」の 3 つの柱を軸に公演等を行いました。ホール等の改修休館中においても、市町村の劇場と公演等を共催するなど、芸術文化の発信を行いました。

また、芸術文化の普及のため、県内の小中学生を学校単位で招待する「劇場と子ども 7 万人プロジェクト」を始めとした各種普及啓発事業を展開し、地域の将来を担う子どもたちに対する芸術の普及に努めました。

社会的課題の解決に向けては、障がい者や在住外国人等劇場に来づらい人を対象に実施したレクチャー、ワークショップ等のプログラムや、オアシス 21 ほか近隣の商業施設・文化施設と実施した「久屋ぐるっとアート」による地域振興等、事業団ならではの活動を通じて取り組むことができました。

さらに、人材養成のため、新しくオルガニスト養成事業を開始するなど、従来の事業内容を拡充して実施しました。

なお、勅使川原三郎氏を 2020 年 4 月から芸術監督として招聘することを決定し、公表いたしました。今後の劇場の創造力・発信力強化につなげていく所存です。

センターの管理運営にあたっては、「防災プロジェクトチーム」を活用した組織横断的な防災体制を整え、災害対応力のさらなる強化を図りました。また、他の劇場や民間事業者と積極的に連携し、事業運営への協力や研究会を開催するなど、地域の公立劇場として求められる役割を果たしました。

＜改修休館期間＞

大ホール・リハーサル室	平成 30 年 4 月 1 日	～	平成 31 年 4 月 22 日
コンサートホール	平成 29 年 8 月 1 日	～	平成 30 年 11 月 25 日
アートスペースＡ～Ｈ	平成 29 年 11 月 28 日	～	平成 30 年 7 月 22 日
アートスペースＸ	平成 30 年 4 月 1 日	～	平成 31 年 4 月 22 日

Ⅱ　公益目的事業

芸術文化の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開しました。また、センター全体の広報や催事室（アートスペース）・アートプラザの管理運営、及び愛知県美術館を含むセンター全体の施設管理を行いました。

１　芸術劇場の管理運営

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供しました。

また、平成２８年度から始まった改修工事では、平成２９年度中に小ホールが、３０年度にはコンサートホールが再開しましたが、再開に際しては、利用者向けの説明会を開催しました。説明会では、改修のポイントなどを説明し、再開後の利用にご活用いただけるよう努めました。なお、改修工事に際しては、施設の管理者の立場から改修工事への助言を行いました。

１　芸術劇場の利用状況

改修工事により大ホールを休館しました。

11 月 26 日にリニューアルオープンしましたコンサートホールの利用率は 99.0%（前年度 76.0%）、小ホールの利用率は 86.1%（前年度 87.4%）となりました。

項目	区分	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度
利用率（%）	大ホール	－	88.1	85.6	88.5
	コンサートホール	99.0	76.0	83.3	80.3
	小ホール	86.1	87.4	88.5	81.4
入場者数（人）	大ホール	－	319,970	300,452	313,548
	コンサートホール	98,645	69,593	252,819	256,439
	小ホール	33,602	16,364	20,956	36,616

※　30 年度のコンサートホールは、改修明けの平成 30 年 11 月 26 日からの値。
※　29 年度のコンサートホールは、改修前の平成 29 年 7 月末までの値。
※　29 年度の小ホールは、改修明けの平成 29 年 10 月 14 日からの値。
※　28 年度の小ホールは、改修前の平成 28 年 10 月末までの値。

２　利用者サービス向上への取り組み

利用者にとってわかりやすく、安全かつ安心して利用していただける劇場となるよう努めました。

また、ハード面についても、お客様や劇場利用者の利便性、快適性の向上のため、優先度の高いものから順に修繕等の対策を行いました。

２　自主事業の企画制作

愛知県芸術劇場の各ホールの特性を活かして、多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供しました。夏季や秋季に事業を集中開催し「フェスティヴァル」と位置付け、わかりやすく魅力的な事業展開を図るとともに、小ホールで先駆的・実験的な作品を上演しました。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図りました。

１　公演事業

「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」「ミニセレ」の３つの柱を軸にラインナップを構成し、音楽、舞踊、演劇等の領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組みました。

（1）ファミリー・プログラム

家族のためのフェスティヴァルとして、夏休み期間に開催しました。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にしました。

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
	概要			
げきじょうたんけんツアー	8月1日(水) （5回）	小ホール	－	144人 (100人)
	小学校低学年を対象に、愛知県芸術劇場スタッフが劇場を案内するツアーを開催しました。リニューアル後の小ホールで初めて実施し、普段は見ることができない劇場の裏側を探検しました。申込みを抽選ではなく先着順にしたことでキャンセルが少なくなり、結果としてより多くの方に参加してもらえました。			
『小さな島とエヴァ』 製作：テラッピン・パペットシアター	8月4日(土) 5日(日) （4公演）	小ホール	94.2%	544人 (600人)
	オーストラリアからやってきた、アニメ、パペットなどが融合した不思議な朗読劇を上演しました。ナレーターを愛知在住の役者とし、脚本を邦訳し、カンパニーが来日してから共に作品を仕上げました。（公財）名古屋市文化振興事業団、うりんこ劇場との連携事業として実施しました。			
シアター・サーカス 『マシーン・ドゥ・シルク』 （こまき市民文化財団と共催） 出演：マシーン・ドゥ・シルク	8月5日(日) （1公演）	小牧市市民会館	－	755人 (1,259人)
	不思議な楽器や舞台で魅せる男性4人のサーカス集団。サーカスのメッカ、カナダで注目を浴びている、サーカス、テクノロジー、演劇のコラボレーション・パフォーマンス「マシーン・ドゥ・シルク」を上演しました。			
日生劇場ファミリーフェスティヴァル2018 物語付きクラシックコンサート『アラジンと魔法のランプ』 （かすがい市民文化財団、ニッセイ文化振興財団と共催） 監修：上岡敏之 演出・構成：粟國淳	8月25日(土) （2公演）	春日井市民会館	－	1,575人 (2,044人)
	日生劇場が制作する音楽劇で、物語の主人公と一緒にオーケストラなどの生演奏を体感できる公演を行いました。大ホールの改修工事にともない、市町村劇場で開催しました。			

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">事業名</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>来場者
満足度</th><th>来場者数
(定員数)</th></tr>
<tr><th colspan="4">概要</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="8">『小さな島とエヴァ』県内ツアー
（各市町村が主催）</td><td>8 月 8 日(水)
(1 公演)</td><td>幸田町民会館</td><td rowspan="8">－</td><td>126 人</td></tr>
<tr><td>8 月 10 日(金)
(1 公演)</td><td>豊川市御津
文化会館</td><td>179 人</td></tr>
<tr><td>8 月 12 日(日)
(1 公演)</td><td>名古屋文理大学
文化フォーラム</td><td>93 人</td></tr>
<tr><td>8 月 15 日(水)
(2 公演)</td><td>名古屋市千種
文化小劇場</td><td>207 人</td></tr>
<tr><td>8 月 17 日(金)
(1 公演)</td><td>碧南市芸術文化
ホール</td><td>177 人</td></tr>
<tr><td>8 月 19 日(日)
(1 公演)</td><td>小牧市東部市民
センター</td><td>172 人</td></tr>
<tr><td>8 月 22 日(水)
(1 公演)</td><td>パティオ池鯉鮒</td><td>162 人</td></tr>
<tr><td colspan="4">オーストラリアからやってきた、アニメ、パペットなどが融合した不思議な朗読劇を県内各地で上演するとともに、市町村の劇場職員とノウハウを共有し、各地域で積極的に芸術文化事業を展開できるプラットフォームづくりをしました。それぞれの劇場の特徴に合わせた公演を実施することができました。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">キッズワークショップ</td><td>①オリジナルなダンスを作ろう
ファシリテーター：プロジェクト大山</td><td>①
8 月 17 日(金)
～18 日(土)
（2 回）</td><td>アート
スペース A</td><td>－</td><td>①38 人
(40 人)</td></tr>
<tr><td>②赤ちゃんと踊ろう
ファシリテーター：プロジェクト大山</td><td>②
8 月 17 日(金)
～19 日(日)
（4 回）</td><td>アート
スペース A</td><td>－</td><td>②41 人
(60 人)</td></tr>
<tr><td>③えんげき de コミュニケーション
ファシリテーター：捩子ぴじん・佐々木文美 ほか</td><td>③8 月 23 日(木)
～25 日(土)
（2 日×２回）</td><td>アート
スペース A</td><td>－</td><td>③42 人
(60 人)</td></tr>
<tr><td colspan="4">小学校中・高学年を対象とした、ダンス・演劇体験ワークショップや、赤ちゃんを抱っこして踊ることで親子が触れ合うワークショップを実施しました。前者のワークショップは昨年度好評だったので、回数を 2 回に増やしました。「赤ちゃんと踊ろう」は、回数・実施日を見直した結果、昨年より多くの申し込みがありました。</td></tr>
<tr><td colspan="5">合計　8 事業 15 公演</td><td>4,255 人</td></tr>
</table>

※「来場者満足度」は、公演の内容に関する満足度調査結果を記載しています。（以下同）

（2）愛知芸文フェス

愛知芸文フェス

愛知芸術文化センターの開館記念日（10 月 30 日）を中心に、多彩なジャンルの作品を楽しむことができるフェスティヴァルを開催し、質の高い舞台芸術公演等を集中的に上演しました。

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
	概要			
第 17 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演『シティⅢ』 作：カゲヤマ気象台 演出：捩子ぴじん 出演：佐久間新、清水穂奈美（かもめマシーン）、西尾佳織（鳥公園）、増田美佳、松井壮大	10 月 26 日(金) ～28 日(日) （4 公演）	小ホール	91.7%	288 人 (484 人)
	第 17 回 AAF 戯曲賞大賞受賞作品「シティⅢ」を愛知県芸術劇場プロデュースで制作・上演しました。劇場スタッフがクリエーションに深く関わったことで、小ホールの空間・機構を活かした作品となりました。様々な関連事業を行い、クリエーションに触れてもらえる工夫も行いました。			
イスラエル・ガルバン『黄金時代』 （名古屋市文化振興事業団と共催） 演出・振付：イスラエル・ガルバン 出演：イスラエル・ガルバン（ダンス） ダビ・ラゴス（カンテ/歌） アルフレド・ラゴス（ギター）	11 月 2 日(金) 3 日(土・祝) （2 公演）	名古屋市芸術創造センター	98.6%	602 人 (600 人)
	フラメンコの革命児イスラエル・ガルバンの『黄金時代』（2005 年初演）を愛知初上演しました。ダンスファンが先端的なフラメンコに関心をもつ良い機会となりました。			
ヌトミック『ワナビーエンド』 （ヌトミックと共催） 作・演出・音楽：額田大志 出演：中澤陽、深澤しほ	11 月 2 日(金) ～4 日(日) （4 公演）	小ホール	－	147 人 (237 人)
	「それからの街」で第 16 回 AAF 戯曲賞を受賞した額田大志が率いる劇団「ヌトミック」の新作公演を行いました。			
栄北まちなか展開連携事業 **『久屋ぐるっとアート』** （オアシス 21 ほか 20 団体が参加して開催）	11 月 2 日(金) ～4 日(日)	オアシス 21 ほか	－	45,233 人
	愛知県芸術劇場が位置する久屋（栄北）地区でフェスティヴァルを開催し、愛知芸術文化センター、テレビ塔周辺、オアシス 21 で様々なアートイベントやワークショップを開催しました。愛知県芸術劇場と久屋地区が、ダンスや音楽を通してつながる 3 日間でした。			
東京塩麹　単独ライブ （東京塩麹と共催）	11 月 3 日(土・祝) （1 公演）	小ホール	－	79 人 (102 人)
	ヌトミックの額田大志が主宰する 8 人組の人力ミニマル楽団・東京塩麹の 2nd アルバム「You Can Dance」のリリースライブを上演しました。			

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
	概要			
W.A.モーツァルト作曲　オペラ『バスティアンとバスティエンヌ』 指揮：角田鋼亮　演出：太田麻衣子 出演：伊藤晴（ソプラノ）、中井亮一（テノール）田中大揮（バス・バリトン）、ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ	11月16日(金) 17日(土) （3公演）	小ホール	96.8%	505人 (660人)
	モーツァルトが12才で作曲した、上演機会の少ないオペラを、小ホールの空間ならではの独創的な演出で上演しました。オペラ初心者にも楽しめる台本構成とすることで、新しい層に広げることができました。地元スタッフが新製作に多数参加しました。ドイツ語上演・字幕付き。			
愛知県立芸術大学管弦楽団　第29回定期演奏会 （愛知県立芸術大学と共催） 指揮：尾高忠明 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団	11月30日(金) （1公演）	コンサートホール	－	796人 (1,400人)
	東海地方唯一の公立芸術大学管弦楽団による、1990年から続く演奏会を開催しました。モーツァルトの交響曲第39番、リヒャルト・シュトラウスの『英雄の生涯』を上演しました。			
Opto『optofile_touch』 （Optoと共催） 出演：渡辺レイ、小尻健太、湯浅永麻、ほか 振付：クリスタル・パイト、小尻健太、ほか	12月15日(土) 16日(日) （2公演）	小ホール	－	289人 (340人)
	ネザーランド・ダンス・シアターを経て、海外で活動する舞踊家・渡辺レイ、小尻健太、湯浅永麻らが立ち上げた、ダンスプロジェクト「Opto」の愛知初公演を行いました。			
クリスマスはオルガンだ！2018 出演：都築由理江（オルガン） 服部孝也（トランペット）	12月21日(金) 22日(土) （2公演）	コンサートホール	98.9%	2,290人 (3,030人)
	恒例のクリスマス・オルガンコンサート。愛知県芸術劇場オルガニストを選任し、お披露目公演を行いました。毎年好評の、オルガン演奏の様子のスクリーン投影、異なる楽器との共演、クリスマスらしいロビー装飾も継続実施しました。視覚障がい者対応に向けて、モニターを得て事前説明会を試行的に開催しました。			
合計　9事業19公演				50,229人

（3）ミニセレ ―Mini Theater Selection―

現代音楽、コンテンポラリーダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演しました。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新たな劇場ファン層をさらに広げました。

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
	概要			
アンサンブル・ゾネ『緑のテーブル 2017』 （アンサンブル・ゾネと共催） 振付：岡登志子　監修：大野慶人 出演：大野慶人、垣尾優、伊藤愛、ほか	4 月 7 日（土） 8 日（日） （2 公演）	小ホール	90.0%	180 人 (236 人)
	ドイツ表現主義の振付家クルト・ヨースが 1932 年に発表した歴史的名作を現代に蘇らせるプロジェクトを上演しました。			
島地保武×環 ROY『ありか』 出演：島地保武（ダンス）、 環 ROY（ラップ）	6 月 23 日（土） 24 日（日） （2 公演）	小ホール	98.8%	275 人 (296 人)
	平成 28 年に愛知県芸術劇場プロデュースで制作し、平成 29 年に県内外 5 箇所 10 公演を行った作品の凱旋公演を行いました。			
地点『忘れる日本人』 （合同会社地点と共催） 作：松原俊太郎　演出：三浦基 出演：安部聡子、石田大、小河原康二 ほか	7 月 13 日（金） ～15 日（日） （3 公演）	小ホール	－	312 人 (438 人)
	第 15 回 AAF 戯曲賞受賞作「みちゆき」でデビューを飾った作家・松原俊太郎と劇団「地点」のタッグで生まれた新作を上演しました。			
ダンス・セレクション 出演：柳本雅寛、小暮香帆、 オトリヨセ企画、ほか	10 月 6 日（土） 8 日（月・祝） （2 公演）	小ホール	97.4%	258 人 (372 人)
	独自の作風を持つ今もっとも旬なダンサー・振付家たちの小作品を 2 日間にわたり一挙上演しました。新人からベテランまで幅広い層のダンス作品を愛知で紹介する場となりました。関連イベントを地元の民間スペースと共同で開催し、ダンサー同士の交流の場を作り、新たな人的ネットワークを構築することができました。			
【再掲】第 17 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演『シティⅢ』 作：カゲヤマ気象台 演出：捩子ぴじん 出演：佐久間新、清水穂奈美（かもめマシーン）、西尾佳織（鳥公園）、増田美佳、松井壮大	10 月 26 日（金） ～28 日（日） （4 公演）	小ホール	91.7%	288 人 (484 人)
	第 17 回 AAF 戯曲賞大賞受賞作品「シティⅢ」を愛知県芸術劇場プロデュースで制作・上演しました。劇場スタッフがクリエーションに深く関わったことで、小ホールの空間・機構を活かした作品となりました。様々な関連事業を行い、クリエーションに触れてもらえる工夫も行いました。			

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
	概要			
【再掲】ヌトミック『ワナビーエンド』 （ヌトミックと共催） 作・演出・音楽：額田大志 出演：中澤陽、深澤しほ	11月2日(金) ～4日(日) （4公演）	小ホール	－	147人 (237人)
	「それからの街」で第16回AAF戯曲賞を受賞した額田大志が率いる劇団「ヌトミック」の新作公演を行いました。			
【再掲】東京塩麹　単独ライブ （東京塩麹と共催）	11月3日(土・祝) （1公演）	小ホール	－	79人 (102人)
	ヌトミックの額田大志が主宰する8人組の人力ミニマル楽団・東京塩麹の2ndアルバム「You Can Dance」のリリースライブを上演しました。			
【再掲】Opto『optofile_touch』 （Optoと共催） 出演：渡辺レイ、小屻健太、湯浅永麻、ほか 振付：クリスタル・パイト、小屻健太、ほか	12月15日(土) 16日(日) （2公演）	小ホール	－	289人 (340人)
	ネザーランド・ダンス・シアターを経て、海外で活動する舞踊家・渡辺レイ、小屻健太、湯浅永麻らが立ち上げた、ダンスプロジェクト「Opto」の愛知初公演を行いました。			
OrganWorks『聖獣～live with a sun～』 （OrganWorksと共催） 振付・演出：平原慎太郎 出演：平原慎太郎、柴 一平、東海林靖志ほか	1月12日(土) 13日(日) （2公演）	小ホール	－	184人 (284人)
	2016年トヨタコレオグラフィーアワード受賞作品として創作され高い評価を得たダンス作品の再演を行いました。			
サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2019 ・ゲストアーティスト 夏の大△、藤田陽介、ほか ・公募アーティスト 大久保雅基、杉野晋平、dobby/仮説、ほか	2月9日(土) 11日(月・祝) （2公演）	小ホール	91.6%	183人 (244人)
	前衛的な音楽作品や、台詞・身体表現を伴う作品など、新たな音のパフォーマンスを一挙に紹介しました。公募数は例年並みでしたが、観客及び出演者の間での当劇場の特徴的な活動としてこの催しの認知度が高まっていることが実感できました。			
音から作る映画のパフォーマンス上映「サロメの娘／アクースモニウム」 （charmpointと共催） 音楽・アクースモニウム演奏：檜垣智也 映像・演出：七里圭 テキスト：新柵未成 声：青柳いづみ、sei、原マスミ、ほか	3月9日(土) 10日(日) （2公演）	小ホール	－	167人 (215人)
	ライブパフォーマンスと映画制作を往還しながら作品を発表するプロジェクト「音から作る映画のパフォーマンス上映」の愛知初公演を行いました。			
合計　11事業26公演（うち再掲4事業11公演）				2,362人

（4）その他の公演

平成 29 年度に愛知県芸術劇場と静岡県舞台芸術センターが共同制作した現代演劇『寿歌』の全国ツアーを行ったほか、愛知県芸術劇場ならではのオルガンコンサートやダンス・コンサート公演等をリニューアルオープンしたコンサートホールで開催しました。

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数（定員数）
	概要			
『寿歌』全国ツアー （ツアー公演等は各会場等が主催）	4 月 28 日（土） 30 日 （月・祝） （2 公演）	静岡県舞台芸術センター・舞台芸術公園野外劇場「有度」	－	908 人 （900 人）
	5 月 18 日（金） 19 日（土） （2 公演）	熊本県 ながす 未来館		234 人 （1200 人）
	5 月 26 日（土） 27 日（日） （2 公演）	北九州芸術劇場		192 人 （208 人）
	6 月 8 日（金） （1 公演）	ひたちなか市 文化会館		328 人 （440 人）
	6 月 16 日（土） （1 公演）	パティオ 池鯉鮒		115 人 （190 人）
	6 月 23 日（土） （1 公演）	小牧市 市民会館		183 人 （857 人）
	平成 29 年度に愛知県芸術劇場と静岡県舞台芸術センターが共同企画した作品。名古屋在住の北村想の名作を、静岡県舞台芸術センター芸術総監督の宮城聰が演出。一般公演の他、小中学生の学校招待公演を実施。本公演を含め、全国 6 か所の公立ホールで開催しました。			
バレンタイン・オルガンコンサート **～ダニエル・ザレツキー** 出演：ダニエル・ザレツキー（オルガン）	２月 8 日（土） （1 公演）	コンサートホール	100.0%	1,212 人 （1,584 人）
	ロシアのサンクトペテルブルク音楽院でオルガンの学部長として教鞭をとり、ロシア名誉アーティストの称号を持つオルガニストの初来日公演を行いました。アンケートでは新規来場者が多く、新規観客の拡大につながりました。また 5 回以上のリピーターも 25%でした。外国人の実力オルガニストの魅力を十分に伝えることができた演奏でした。			
NHK 交響楽団定期演奏会（愛知芸術劇場シリーズ）＆奏者による公開レッスン （NHK 名古屋放送局と共催） 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ 管弦楽：NHK 交響楽団	2 月 24 日（日） （1 公演）	コンサートホール	96.0%	1,685 人 （1,800 人）
	サントリーホールで開催される定期公演を愛知に招へいしました。首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィが 4 年ぶりに愛知に登場し、『春の祭典』などのストラヴィンスキー・プログラムを演奏しました。			

事業名	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
	概要			
聲明公演 **「四箇法要―花びらは散っても花は散らない」** （CBC テレビと共催） 出演：聲明の会・千年の聲 【天台聲明：七聲会 真言聲明：迦陵頻伽聲明研究会】 構成・演出：田村博巳	3 月 2 日(土) (1 公演)	コンサートホール	98.2%	1,295 人 (1,468 人)
	日本音楽の源流の一つであり、キリスト教のグレゴリオ聖歌と並ぶ宗教音楽である「聲明」の公演を行いました。東日本大震災の鎮魂歌として作られた新作聲明「海霧讃歎」を、日本最古の聲明曲「四箇法要」に織り交ぜて上演しました。民間テレビ局との共催で、互いに強みを生かして協力して広報することができました。スクリーンに聲明の意味を日本語及び英語で投影し、外国人観客に対応することができました。			
ダンス・コンサート『Stars in Blue』 出演 マニュエル・ルグリ（ダンス） 田村響（ピアノ） 三浦文彰（ヴァイオリン）　ほか	3 月 17 日(日) (1 公演)	コンサートホール	100.0%	1,086 人 (1,498 人)
	クラシック音楽の生演奏とダンスを同時に楽しめる企画。平成 28 年に開催して大好評を得た「月夜に煌めくエトワール」を皮切りに続くダンス・コンサート企画第 3 弾を上演しました。全国屈指の響きを持つコンサートホールを活かし、元パリ・オペラ座のエトワールらとトッププレーヤーたちが共演し、新しいパフォーマンスを創造することができました。愛知発信の作品を他県の劇場 3 か所でも上演することができました。			
合計　5 事業 13 公演				7,238 人

2　人材養成事業

若手芸術家等に活動発表の場を提供したほか、アーティスト人材養成事業として昨年度までの合唱団や振付家・ダンサー養成事業をさらに充実させ、新しくオルガニスト養成事業を開始しました。また舞台芸術を担う人材の養成事業として、地域の劇場や大学等と連携して、インターンシップから専門職員のスキルアップまで、様々なニーズに応えられるプログラムを実施しました。

事業名	開催日	会場	参加者数(募集定員)
	概要		
第 18 回 AAF 戯曲賞募集・選考・公開審査会 審査員：三浦基、篠田千明、羊屋白玉、やなぎみわ、鳴海康平	作品募集 6 月～7 月	－	応募作品数 110 作品
	公開審査会 1 月 6 日(日)	小ホール	観覧者　34 人 (50 人) YouTube 中継 観覧数　466 回
	全国で唯一の「劇場が主催する戯曲賞」。上演を前提としているのも特徴の一つ。6 月から作品の募集を開始し、一次、二次審査の後、最終審査を 1 月に一般公開で行なった。大賞受賞作品は 2020 年度に上演を予定しています。		

<table>
<tr><th rowspan="2">事業名</th><th>開催日</th><th>会場</th><th>参加者数
(募集定員)</th></tr>
<tr><th colspan="3">概要</th></tr>
<tr><td rowspan="2">【再掲】ダンス・セレクション</td><td>10 月 6 日(土)
8 日(月・祝)
(2 公演)</td><td>小ホール</td><td>258 人
(372 人)</td></tr>
<tr><td colspan="3">独自の作風を持つ今もっとも旬なダンサー・振付家たちの小作品を 2 日間にわたり一挙上演しました。新人からベテランまで幅広い層のダンス作品を愛知で紹介する場となりました。関連イベントを地元の民間スペースと共同で開催し、ダンサー同士の交流の場を作り、新たなネットワークを構築することができました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">N 響首席クラリネット奏者　松本健司による公開レッスン</td><td>2 月 24 日(日)(1 回)</td><td>コンサートホール</td><td>レッスン受講者：13 人
(5 グループ・個人)
聴講：35 人</td></tr>
<tr><td colspan="3">中学・高校生や 25 歳以下の音大生等を対象に、N 響首席クラリネット奏者 松本健司による公開レッスンを行いました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">【再掲】サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019</td><td>2 月 9 日(土)
11 日（月・祝）
（2 公演）</td><td>小ホール</td><td>183 人
(244 人)</td></tr>
<tr><td colspan="3">前衛的な音楽作品や、台詞・身体表現を伴う作品など、新たな音のパフォーマンスを一挙に紹介しました。公募数は例年並みでしたが、観客及び出演者の間での当劇場の特徴的な活動としてこの催しの認知度が高まっていることが実感できました。</td></tr>
</table>

事業名		開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
アーティスト人材養成事業	(1)合唱団養成プログラム 愛知県芸術劇場合唱団 フランス語ディレクション訓練	1月14日(月・祝) 2月10日(日) 3月3日(日) (3回)	アート スペースA	43人 (40人)
	(2)オルガニスト養成プログラム	1月5日(土) ～3月13日(水)	コンサート ホール	6人 (10人)
	(3)振付家・ダンサー養成プログラム ①岡登志子ダンスワークショップin愛知 ②フォーサイスのメソッドに基づくコンテンポラリー・ダンス・ワークショップ(黄金4422BLDG.と共催) ③湯浅永麻によるインプロビゼーションクラス ④小尻健太によるクリスタル・パイトのレパートリークラス	① 4月5日(木) (1回) ② 6月16日(土)、17日(日) (2回) ③ 12月10日(月) (1回) ④ 12月11日(火) (1回)	①小ホール ②黄金4422 BLDG. ③小ホール ④小ホール	①10人 ②12人 ③ 4人 ④11人
	(4)ワークショップリーダー養成プログラム 舞台芸術ワークショップファシリテーター＆コーディネーター人材養成講座 アーティストと社会をつなぐ広場ラボ	1月26日(土) (1回)	アート スペースA	26人 (20人)
		アーティスト人材養成のための講座やワークショップを系統立てて整理し実施しました。		

事業名		開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
舞台芸術人材養成ラボ 2018-2019	(1)実践実習プログラム 舞台芸術インターンシップ	6 月～3 月	小ホール ほか	7 人
	(2)職場体験プログラム ①学生インターンシップ ②舞台芸術お仕事ナビ	①7 月 30 日(月) ～8 月 1 日（水） （1 回） ②8 月 11 日(土) （2 回）	①小ホール ほか ②アート スペース EF	①23 人 （20 人） ②42 人 （100 人）
	(3)技能習熟プログラム 劇場職員セミナー （愛知県、名古屋市、名古屋市文化振興事業団と共催）	1 月 16 日(水) ～18 日(金) （3 日間）	アート スペース A ほか	のべ 754 人
	(4)創造制作プログラム 舞台芸術創造セミナー 『舞台芸術における映像　マルチプルな映像の手法』 ①レクチャー ②ワークショップ	①9 月 16 日(日) （1 回）	①アート スペース A	①62 人 (100 人) ②20 人 （20 人）
	(5)普及啓発プログラム 【再掲】舞台芸術ワークショップファシリテーター＆コーディネーター人材養成講座 アーティストと社会をつなぐ広場ラボ（アーティスト人材養成事業・(4)ワークショップリーダー養成プログラムと共同開催）	1 月 26 日(土) （1 回）	アート スペース A	26 人 （20 人）
		今後舞台芸術の仕事に就きたい学生を対象とするキャリアプラン講座などについて、平成 27 年度より系統立てて開催している人材養成プログラムに、新たに普及啓発プログラムを加えて実施しました。		
合計　13 事業（うち、再掲 3 事業）				1,569 人

３　普及啓発事業

次代を担う子どもたちに舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう取り組みとして、学校単位で子どもたちを招待する「劇場と子ども７万人プロジェクト」を、市町村の劇場とも連携して実施しました。また、事業を系統立てて実施するとともに、子育て世代、障がい者や在住外国人など劇場に来づらい方々を対象に、レクチャー、ワークショップ等、様々なプログラムを実施しました。

事業名		開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
劇場と子ども7万人プロジェクト	舞台芸術鑑賞教室『寿歌』 （小中学生学校招待公演）	①6 月 13 日(水) ～15 日(金) ②6 月 21 日(木) 22 日(金) （5 公演）	①パティオ 池鯉鮒 ②小牧市 市民会館	①692 人 (720 人) ②973 人 (1, 714 人)
	舞台芸術鑑賞教室『ありか』 （小中学生学校招待公演）	6 月 26 日(火) ～29 日(金) （4 公演）	小ホール	528 人 (616 人)
		平成 29 年度に愛知県芸術劇場と静岡県舞台芸術センターが共同企画した現代演劇『寿歌』及び平成 28 年に愛知県芸術劇場が制作し、平成 29 年に県内外 5 箇所で公演を行った作品『ありか』の学校招待公演を行いました。		
【高校生　ゲネプロ招待】 ①地点『忘れる日本人』 ②『シティⅢ』 ③オペラ『バスティアンとバスティエンヌ』		①7 月 12 日(木) ②10 月 25 日(木) ③11 月 15 日(木) （各 1 回）	小ホール	①23 人 ②27 人 ③15 人
		将来の観客を育成するために、ゲネプロへの参加を希望する高校生を無料招待しました。		
乳幼児と保護者のためのプログラム	ワークショップ『赤ちゃんと踊ろう』 （半田市と共催）	11 月 25 日(日) (1 回)	半田市福祉 文化会館	13 人 (30 人)
	0 歳からの親子コンサート 『音を楽しむ』 （長久手市と共催）	1 月 19 日(土) (2 回)	長久手市 文化の家	101 人 （100 人）
		未就学児連れで参加できるワークショップやコンサートを開催しました。		

	事業名	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
入門者のためのプログラム	カフェトーク ①『舞台の上には何があるか？』 ②『身体と舞台衣裳の関係性』 ③『街と空間から考えるパフォーミングアーツ』 ④『‘見えてくる’映像』 ⑤『ロマンティック・バリケード』 ⑥『建築と舞台芸術』	①9 月 6 日(木) ②9 月 13 日(木) ③9 月 27 日(木) ④12 月 19 日(水) ⑤1 月 23 日(水) ⑥2 月 21 日(木) （各 1 回）	アートプラザ 内喫茶アルス	①40 人 ②18 人 ③20 人 ④19 人 ⑤19 人 ⑥48 人 (各 30 人)
	エンゲキ・カフェ -声に出して読む演劇体験- （各会場と共催）	①9 月 7 日(金) ②9 月 8 日(土) (3 回)	①長久手市文化の家 ②一色町公民館横カフェいろのわ	27 人 (60 人)
	シアターミーティング 『シティⅢ』を語ろう	10 月 27 日(土) (1 回)	小ホール ホワイエ	20 人
	教えてティー・チャー！ 『フラメンコ入門』	9 月 9 日(日) (1 回)	アート スペース A	51 人 (50 人)
	バスティアンとバスティエンヌ関連 ①大山大輔のオペラへようこそ！ ②丸善ゼミナール ③愛知県芸術劇場×愛知県立芸術大学『バスティアンとバスティエンヌ』を楽しむ（愛知県芸術大学と共催）	①9 月 16 日(日) (2 回) ②10 月 5 日(金) (1 回) ③10 月 13 日(土) (1 回)	①長久手市文化の家 ②丸善名古屋本店 ③アート スペース A	①125 人 (160 人) ②8 人 (15 人) ③73 人 (100 人)
	OrganWorks 関連 身体表現者のためのワークショップ	1 月 9 日(水) (1 回)	黄金 4422BLDG.	18 人 (15 人)
	聲明関連講座『日本の声をめぐって』 ①雅楽・歌もの ②聲明 1 ③聲明 2 ④和歌を歌う	①1 月 12 日(土) ②1 月 27 日(日) ③2 月 2 日(土) ④2 月 23 日(土) (各 1 回)	アート スペース A	①150 人 ②137 人 ③122 人 ④118 人 (各 180 人)
	ダンス鑑賞を味わうための講座 『ダンス・スコーレ』	3 月 23 日(土) ～24 日(日) (2 回)	小ホール	41 人 (40 人)
		舞台芸術に触れてみたい人のために、初心者を対象としたワークショップや、気軽に参加できるトークやレクチャーを開催しました。		

事業名		開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム	鑑賞&レビュー講座 『観て、話して、書いてみる』 ①地点『忘れる日本人』 ②ダンス・セレクション ③『シティⅢ』 ④Opto『optofile_touch』 ⑤OrganWorks 『聖獣～live with a sun～』 ⑥サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019	①7 月 14 日(土) (1 回) ②10 月 6 日(土)、8 日(月) (2 回) ③10 月 28 日(日) (1 回) ④12 月 16 日(日) (1 回) ⑤1 月 13 日(日) (1 回) ⑥2 月 9 日(日)、11 日(月・祝) (2 回)	アートプラザビデオルーム	①18 人 ②37 人 ③12 人 ④12 人 ⑤7 人 ⑥17 人 (1 回 20 人)
	ダンス・セレクション関連 『踊る』『語る』『集う』	10 月 5 日(金) ～7 日(日) (8 回)	黄金 4422BLDG. ほか	151 人 (160 人)
	『ワナビーエンド』関連 ワークショップ 「音から演劇を立ち上げる」	10 月 29 日(月) 30 日(火) (1 回)	スパジオ・ リタ	3 人 (10 人)
	現代音楽リレーレクチャー2018-2019 ①ハリー・パーチの楽器と音楽 ②サウンドパフォーマンスについて ③音から作る映画『サロメの娘／アクースモニウム』について ④「マウリシオ・カーゲル《ACUSTICA》創造される楽器と音響空間」	①12 月 6 日(木) (1 回) ②1 月 24 日(木) (1 回) ③2 月 3 日(日) (2 回) ④3 月 19 日(火) (1 回)	①アートプラザビデオルーム ②パルル ③アート スペース A ④小ホール	①16 人 (40 人) ②14 人 (35 人) ③28 人 (100 人) ④20 人 (40 人)
	第 18 回 AAF 戯曲賞関連 ①戯曲を読むワーク ②トーク　戯曲とは何か？ ③受賞者座談会　作家にとって上演とは？	①1 月 5 日(土) ②1 月 5 日(土) 6 日(日) ③3 月 21 日(木・祝) (各 2 回)	小ホール	①24 人 (40 人) ②21 人 (100 人) ③20 人 (40 人)
	ダンス・コンサート 『Stars in Blue』関連 マニュエル・ルグリ　トークイベント	3 月 10 日(日)	アート スペース A	68 人 (180 人)
		鑑賞公演や創作公演に関連した内容を、より深く体験し、広く深い知識を持って鑑賞できるようになるためのデモンストレーション付きレクチャーや講座、ワークショップを行いました。		

事業名		開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
障がい者及び劇場に来づらい人のためのプログラム	**視覚障害者対応** **①触る舞台美術模型を使用した開演前舞台説明** （一般財団法人ちりゅう芸術創造協会に協力） **②開演前の説明会** **『バレンタイン･オルガンコンサート』** **③点字プログラムの作成** **『バレンタイン･オルガンコンサート』**	①4 月 7 日(土) (1 回) ②2 月 8 日(金) (1 回) ③2 月 8 日(金) (1 回)	①パティオ池鯉鮒 ②③コンサートホール	①10 人 ②5 人 ③利用者 10 人
	聴覚障害者対応 **①赤外線補聴システムの使用** **イスラエル・ガルバン『黄金時代』** **②字幕設置** **オペラ『バスティアンとバスティエンヌ』** **③ポータブル字幕使用** **『シティⅢ』**	①11 月 2 日(金) 3 日(土) (2 公演) ②11 月 16 日(金) 17 日(土) （3 公演） ③10 月 27 日(土) （1 公演）	①名古屋市芸術創造センター ②小ホール ③小ホール	①②人数不明 ③5 人
		視覚や聴覚に障がいがある人が公演を楽しめるように、特別な解説やサポートを実施しました。		
【在住外国人のためのプログラム】 **ワークショップ** **『赤ちゃんと一緒にダンス!』** （愛知県・NPO 法人シェイクハンズと共催）		11 月 25 日(日) (1 回)	犬山市楽田ふれあいセンター	22 人 (30 人)
		多文化共生社会の実現に向けて、芸術文化を通じて交流できるプログラムを実施しました。		
合計　22 事業				3,946 人

4　その他

○平成 29 年度自主事業「三輪眞弘＋前田真二郎　モノローグ・オペラ『新しい時代』」が、第 17 回佐治敬三賞（公益財団法人サントリー芸術財団）を受賞しました。

○2020 年度より芸術監督を設置し、ダンサー・振付家の勅使川原三郎氏に就任いただくことを発表しました。

３　愛知芸術文化センターの管理運営等

センターの指定管理者として、センター全体の広報活動や、アートプラザの運営、アートスペース（催事室）の利用許可、愛知県美術館を含むセンター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供しました。

また、利用者の安全性の確保を第一に考えた防火・防災体制の強化を行うとともに、安心して利用していただける施設環境の整備に努めました。

１　広報・マーケティング

（１）　情報誌「AAC」の発行

センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化活動に関する情報等を掲載した情報誌を発行しました。誌面デザインを一新し、より手に取ってもらいやすい情報誌を目指すとともに、ウェブブックをインターネット上で公開しました。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等

＜AAC 発行状況＞

号	発行月	発行部数	概要
Vol.96	H30.6	20,000 部	熊谷守一展 / ファミリー・プログラム
Vol.97	H30.9	20,000 部	愛知県美術館と豊田市美術館 /イスラエル・ガルバン
Vol.98	H30.12	20,000 部	コンサートホールリニューアルオープン
Vol.99	H31.3	20,000 部	アイチアートクロニクル 1919-2019

（２）　マスコミ等を通じた発信

芸術劇場で行われる各種公演や自主事業等について多くの人に周知するため、マスコミ等を通じて情報発信を行いました。

全 483 件（告知 123 件、記事 250 件、広告 89 件、その他 21 件）

（３）　多様な情報発信

各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供しました。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援しました。

＜SNS の状況＞

媒体	発信内容の対象	導入時期	アクセス数等
Facebook	芸術劇場	H26.4	読者　3,012 人 訪問者　1,088,463 人
Twitter	芸術劇場	H26.4	読者　2,089 人
YouTube	芸術劇場	H26.10	チャンネル登録者　158 人 視聴回数　275,968 回

※平成 31 年３月末現在

（４）　販売促進

＜愛知県芸術劇場メンバーズ＞

平成 28 年 2 月よりダイレクトメール会員から名称を改め、ダイレクトメール会員の特典に加え、主催公演チケットをインターネット上で購入できる仕組みを整え、運用しています。

※愛知県芸術劇場メンバーズ　会員数　8,591 名（平成 31 年 3 月末現在）

（５）　調査・研究

劇場利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場の使いやすさやニーズを把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めました。また、劇場主催公演の際に公演来場者アンケートを実施し、公演に対する評価や来場者属性を把握、分析して、今後の企画制作に反映させていきます。

2　アートプラザの運営

美術、音楽、演劇などに関する多様な芸術文化情報を、様々な媒体を通じて県民に提供する情報発信拠点として、県民の皆様に気軽に利用していただけるような運営に努めました。

※平成 30 年度入場者数　174,002 人

3　アートスペースの運営

センター12 階及び地下 2 階のアートスペース（催事室）について、利用許可及び利用当日のサポート等を行いました。なお、地下２階のアートスペースＸ室は、大ホールの改修工事に伴い休館していました。

項目	区分	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度
利用率（%）	会議室利用	47.4	53.3	57.9	55.1
	展示室利用	94.3	79.1	91.9	80.9
入場者数（人）	全体	56,197	65,556	154,043	96,128

※　30 年度は、改修明けの平成 30 年 7 月 24 日以降の値。

※　29 年度の会議室利用は、改修前の平成 29 年 11 月末までの値。

4　施設管理・防災

（１）施設の保守・維持管理

事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、スタッフや委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行いました。センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応しました。

また、「施設管理連絡会議」（県と事業団で組織）を毎月定例開催し、指定管理業務の効率的な運営や利用者サービスの調整、施設管理上の問題点やトラブル等の共有等を図りました。

（２）防災体制

消防法をはじめとする関係法令を順守するとともに、組織横断的に「防災プロジェクトチーム」を組織し、スタッフの災害対応に係る意識、知識、スキルの継続的な向上を図りました。

○避難経路ツアー及び利用頻度の高いユーザーとの意見交換会の開催

建物構造の複雑なセンターの避難経路の把握、及び避難誘導にあたっての問題点の洗い出しを目的とした「避難経路ツアー」を開催しました。加えて、劇場貸館の利用頻度の高いユーザーを交えて防災に関する意見交換を行いました。

開催時期：12/18(月)

参加人数：センター内で勤務する職員及び劇場ユーザーなど計 107 人

○　消防・防災訓練、防火・防災講習の実施

災害発生時の対応能力向上を目的に、消防・防災訓練及び防火・防災講習を実施しました。

＜消防・防災訓練＞

2/20(月)　劇場コンサートホールでの消防・防災訓練（訓練 118 人、振返り 66 人）

3/6(水)　ギャラリーでの消防・防災訓練（53 人）

＜防火・防災講習＞

5/29(火)　心肺蘇生法、AED 使用方法、異物除去要領、止血法（24 人）

※名古屋市消防局 応急手当研修センター指導員による講習

11/6（火）　消火器、屋内消火栓の使用方法（47 人）

５　他団体との連携・交流

（１）近隣施設との交流

近隣商業施設との会合に積極的に参加し、情報交換に努めています。

＜連携先＞

North　Five

栄公園地区連携協議会

久屋大通公園発展会

久屋大通東南地区発展会

（２）圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修や研究会を開催しました。

（３）全国の劇場・音楽堂とのつながり

自主事業や舞台技術について全国の劇場・音楽堂等と情報共有したり、名古屋市内のホールと施設利用サービス等について情報共有したりしました。

＜連携先＞

劇場・音楽堂等連絡協議会

公共劇場舞台技術者連絡会

名古屋ホール運営協議会　　ほか

（４）視察・施設見学の受け入れ

全国の劇場関係者や県内の小学・中学・高校生の施設見学を受け入れました。
※計 15 件　259 名

（５）職員の派遣

愛知県豊川市・西尾市・岡崎市、岐阜県岐阜市、大阪府堺市・豊中市・貝塚市、名古屋芸術大学等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営のアドバイス等を行いました。

（６）海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に加盟しています。平成 30 年度は、ニュージーランド・オークランド市で開催された定例会及び総会（9/19(水)～9/21(金)）に出席し、海外の劇場関係者との情報交換や交流を図りました。

Ⅲ　収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行いました。

プレイガイド（地下 2 階）

株式会社日本プレイガイドに運営を委託し、事業団の主催事業をはじめ、近隣の劇場・ホールで行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行いました。

なお、ミュージアムショップ（10 階）及びアートショップ（地下 2 階）は、愛知県美術館の改修休館に伴い、休業しました。

Ⅳ　法人運営

１　理事会・評議員会の開催状況

（１）理事会

会議名	開催日	議案
臨時理事会	4/1(日)	1　代表理事（理事長）の選任について
臨時理事会	5/30(水)	1　臨時評議員会の開催について
通常理事会	6/6(水)	1　平成 29 年度事業報告について 2　平成 29 年度収支決算について 3　平成 30 年度収支補正予算について 4　定時評議員会の開催について
臨時理事会	7/2(月)	1　代表理事（理事長）、常務理事及び事務局長の選任について
臨時理事会	7/31(火)	1　臨時評議員会の開催について
臨時理事会	12/25(火)	1　理事の報酬の額について
臨時理事会	1/24(木)	1　臨時評議員会の開催について
通常理事会	3/6(水)	1　平成 31 年度事業計画について 2　平成 31 年度収支予算について 3　平成 30 年度収支補正予算について 4　愛知県文化振興事業団就業規程の改正について 5　愛知県文化振興事業団会計処理規程の改正について 6　理事の報酬の額について 7　臨時評議員会の開催について

（２）評議員会

会議名	開催日	議案
臨時評議員会	5/31(木)	1　評議員の選任について
定時評議員会	6/29(水)	1　平成 29 年度事業報告について 2　平成 29 年度収支決算について 3　平成 30 年度収支補正予算について 4　理事、監事の選任について
臨時評議員会	8/1(水)	1　理事の選任について
臨時評議員会	1/25(金)	1　評議員の選任について
臨時評議員会	3/15(金)	1　平成 31 年度事業計画について 2　平成 31 年度収支予算について 3　平成 30 年度収支補正予算について

２　組織体制

（１）平成 30 年度組織体制

（２）職員数

常勤役員	２名
職員	34 名
嘱託員	10 名
計	46 名

Ⅴ　資料

別表１　愛知県芸術劇場の利用状況

別表２　アートスペース（催事室）の利用状況

愛知県芸術劇場の利用状況

別表１

愛知県芸術劇場

(1) 時間帯別利用状況、入場者数

ア　大ホール（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	29年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
30年 4月			-							( )			79.2	33,172
5月			-							( )			78.3	14,891
6月			-							( )			88.5	33,534
7月			-							( )			86.4	24,087
8月			-							( )			92.0	25,622
9月			-							( )			100.0	47,416
10月			-							( )			96.3	27,258
11月			-							( )			95.7	28,423
12月			-							( )			90.9	29,455
31年 1月			-							( )			76.0	24,144
2月			-							( )			100.0	14,407
3月			-							( )			73.7	17,561
計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	(－)	0	0	88.1	319,970
構成比				-	-	-	-	-	-		-			
29年度実績	277	244	88.1	0	0	4	9	0	233	(80)	246	319,970		

（注）１ 利用日数は、１日に複数の利用（例：午前１件と午後１件）があった場合でも１日としている。
２ 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
３ 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。
４ 以下イ～オの表においても、上記１，２，３のとおりである。

イ コンサートホール（改修工事：平成29年8月1日～平成30年11月25日）

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	29年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
30年 4月			-							( )			60.0	12,102
5月			-							( )			68.4	16,354
6月			-							( )			83.3	18,548
7月			-							( )			94.4	22,589
8月			-							( )				
9月			-							( )				
10月			-							( )				
11月	5	5	100.0	－	－	－	－	2	3	(1)	5	4,028		
12月	24	24	100.0	1	－	2	2	5	17	(1)	27	30,577		
31年 1月	21	21	100.0	－	－	3	7	4	10	(－)	24	22,158		
2月	21	20	95.2	1	－	2	2	3	13	(－)	21	18,069		
3月	25	25	100.0	1	－	1	1	4	19	(1)	26	23,813		
計	96	95	99.0	3	0	8	12	18	62	(3)	103	98,645	76.0	69,593
構成比				2.9%	－	7.8%	11.7%	17.5%	60.2%		100.0%			
29年度実績	75	57	76.0	0	0	1	12	5	40	(4)	58	69,593		

ウ 小ホール（改修工事：平成28年11月1日～平成29年10月13日）

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	29年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
30年 4月	25	14	56.0	–	–	–	1	1	12	(–)	14	1,574		
5月	27	19	70.4	–	–	–	3	1	15	(1)	19	3,092		
6月	25	25	100.0	–	–	–	2	1	22	(–)	25	3,845		
7月	26	23	88.5	–	–	1	–	1	21	(–)	23	3,136		
8月	28	21	75.0	–	–	–	–	5	16	(–)	21	3,420		
9月	27	25	92.6	–	–	1	2	3	19	(1)	25	2,719		
10月	29	29	100.0	–	–	–	1	2	26	(–)	29	2,833	94.1	1,899
11月	25	23	92.0	–	–	–	–	2	21	(–)	23	3,215	91.3	3,655
12月	23	22	95.7	–	–	–	–	1	21	(–)	22	2,183	87.5	3,075
31年 1月	19	18	94.7	–	–	–	–	1	17	(–)	18	2,302	68.4	1,453
2月	21	20	95.2	–	–	1	1	1	17	(–)	20	2,572	78.3	2,758
3月	28	22	78.6	–	–	–	1	1	19	(1)	21	2,711	100.0	3,524
計	303	261	86.1	0	0	3	11	20	226	(3)	260	33,602	87.4	16,364
構成比				–	–	1.2%	4.2%	7.7%	86.9%		100.0%			
29年度実績	183	162	87.4	1	0	1	7	11	143	(4)	163	16,364		

エ 大リハーサル室（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	29年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
30年 4月			-							( )			56.5	743
5月			-							( )			70.4	685
6月			-							( )			62.5	30
7月			-							( )			93.1	219
8月			-							( )			50.0	460
9月			-							( )			46.4	0
10月			-							( )			96.3	120
11月			-							( )			68.0	222
12月			-							( )			50.0	310
31年 1月			-							( )			70.4	270
2月			-							( )			64.0	278
3月			-							( )			64.3	475
計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	(–)	0	0	66.3	3,812
構成比				-	-	-	-	-	-		-			
29年度実績	315	209	66.3	7	9	8	24	16	153	(–)	217	3,812		

オ 中リハーサル室（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数 午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	入場者数	29年度実績 利用率(B/A)	入場者数
	日	日	%	件	件	件	件	件	件	件	件	人	%	人
30年 4月			-							( )			100.0	130
5月			-							( )			100.0	20
6月			-							( )			100.0	270
7月			-							( )			96.4	130
8月			-							( )			100.0	144
9月			-							( )			100.0	140
10月			-							( )			100.0	157
11月			-							( )			100.0	495
12月			-							( )			100.0	150
31年 1月			-							( )			92.6	47
2月			-							( )			100.0	193
3月			-							( )			100.0	–
計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	(–)	0	0	99.1	1,876
構成比				-	-	-	-	-	-		-			
29年度実績	324	321	99.1	18	26	5	17	19	259	(–)	344	1,876		

(2) 催物別利用状況

ア 大ホール（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	催物別利用件数														
	音楽				舞踊			演劇			映画	その他の芸能	講演会	式典等	計
	クラシック		その他の音楽	邦楽	バレエ	その他の洋舞	日本舞踊	伝統演劇	ミュージカル	一般演劇					
	オペラ	その他													
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
30年 4月															
5月															
6月															
7月															
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
31年 1月															
2月															
3月															
計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
構成比	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
				－			－			－				－	－

(注) 構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。以下の表においても、同じである。

イ コンサートホール（改修工事：平成29年8月1日～平成30年11月25日）

利用月	催物別利用件数														
	音楽											演劇	その他の芸能	講演会等	計
	クラシック								軽音楽	その他の音楽	邦楽				
	オーケストラ	合唱	吹奏楽	室内楽	声楽	ピアノ	オルガン	その他							
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
30年 4月															
5月															
6月															
7月															
8月															
9月															
10月															
11月	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	5
12月	14	2	－	2	1	2	6	－	－	－	－	－	－	－	27
31年 1月	13	2	1	3	－	1	2	－	－	1	1	－	－	－	24
2月	10	1	－	3	1	－	4	－	－	－	－	－	1	1	21
3月	14	3	－	－	－	3	2	－	－	－	2	－	2	－	26
計	54	8	1	8	2	6	14	0	0	1	3	0	3	3	103
構成比	52.4%	7.8%	1.0%	7.8%	1.9%	5.8%	13.6%	－	－	1.0%	2.9%	－	2.9%	2.9%	100.0%
								90.3%			3.9%			5.8%	100.0%

ウ 小ホール（改修工事：平成28年11月1日～平成29年10月13日）

利用月	催物別利用件数														
	音楽				舞踊			演劇			演芸	映画	その他の芸能	講演会等	計
	クラシック	歌謡曲	その他の音楽	邦楽	現代舞踊	その他の洋舞	日本舞踊	伝統演劇	ミュージカル	一般演劇					
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
30年 4月	2	–	1	1	–	4	–	–	–	2	1	–	3	–	14
5月	3	1	2	1	–	–	–	–	–	10	1	–	–	1	19
6月	–	1	1	–	1	10	–	–	–	8	3	–	–	1	25
7月	3	2	1	–	–	–	–	–	–	14	1	–	1	1	23
8月	3	1	1	–	1	2	–	–	–	10	2	–	1	–	21
9月	–	–	2	–	6	–	–	–	–	11	4	–	2	–	25
10月	1	–	5	–	8	–	–	–	–	13	2	–	–	–	29
11月	6	–	1	–	–	1	–	–	–	13	2	–	–	–	23
12月	2	–	3	–	7	3	–	–	–	6	1	–	–	–	22
31年 1月	6	–	–	–	5	1	–	–	–	3	1	–	2	–	18
2月	1	–	–	–	1	–	–	–	–	8	2	2	3	3	20
3月	–	–	1	–	–	3	–	–	–	5	2	–	3	7	21
計	27	5	18	2	29	24	0	0	0	103	22	2	15	13	260
構成比	10.4%	1.9%	6.9%	0.8%	11.2%	9.2%	–	–	–	39.6%	8.5%	0.8%	5.8%	5.0%	100.0%
				20.0%			20.4%			39.6%				20.0%	100.0%

エ 大リハーサル室（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	形態別利用件数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
	件	件	件	件	件
30年 4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
31年 1月					
2月					
3月					
計	0	0	0	0	0
構成比	–	–	–	–	–

オ 中リハーサル室（改修工事：平成30年4月1日～平成31年4月22日）

利用月	形態別利用件数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
	件	件	件	件	件
30年 4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
31年 1月					
2月					
3月					
計	0	0	0	0	0
構成比	–	–	–	–	–

アートスペース（催事室）の利用状況

別表２

(1) 利用室別利用状況、入場者数

ア　会議室利用

利用月	A室				B室				C室				D室				E・F室				合計				入場者数 (A～E･F)
	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
30年 4月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月	6	1	16.7	1	7	2	28.6	2	7	4	57.1	5	7	5	71.4	6	7	1	14.3	1	34	13	38.2	15	259
8月	27	19	70.4	19	27	8	29.6	8	27	12	44.4	15	27	14	51.9	16	27	10	37.0	10	135	63	46.7	68	6,038
9月	25	10	40.0	10	25	4	16.0	4	25	13	52.0	18	25	14	56.0	17	25	14	56.0	15	125	55	44.0	64	2,039
10月	25	14	56.0	17	26	5	19.2	5	26	12	46.2	16	26	12	46.2	13	26	10	38.5	10	129	53	41.1	61	3,261
11月	25	12	48.0	12	25	7	28.0	7	25	15	60.0	17	25	16	64.0	18	25	14	56.0	15	125	64	51.2	69	2,647
12月	24	6	25.0	6	23	5	21.7	5	23	20	87.0	23	23	17	73.9	20	24	12	50.0	12	117	60	258	66	2,453
31年 1月	24	13	54.2	13	24	7	29.2	7	24	19	79.2	23	24	14	58.3	18	24	11	45.8	12	120	64	267	73	2,656
2月	24	14	58.3	15	24	7	29.2	7	24	15	62.5	18	24	15	62.5	17	24	15	62.5	16	120	66	275	73	3,671
3月	27	9	33.3	9	27	4	14.8	4	27	16	59.3	20	27	14	51.9	18	27	12	44.4	13	135	55	204	64	2,603
計	207	98	47.3	102	208	49	23.6	49	208	126	60.6	155	208	121	58.2	143	209	99	47.4	104	1,040	493	47.4	553	25,627
構成比				10.8%				5.2%				16.4%				15.1%				11.0%				58.3%	
29年度実績	205	90	43.9	94	206	44	21.4	46	206	141	68.4	198	206	146	70.9	203	206	127	61.7	150	1,029	548	53.3	691	

イ　展示室利用

利用月	G室				H室				X室				合計				入場者数 (G･H･X)
	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	利用可能日数(A)	利用日数(B)	利用率(B/A)	利用件数	
	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	日	日	%	件	人
30年 4月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月	7	6	85.7	6	7	6	85.7	6	－	－	－	－	14	12	85.7	12	387
8月	27	24	88.9	24	27	24	88.9	24	－	－	－	－	54	48	88.9	48	4,006
9月	26	26	100.0	26	26	26	100.0	26	－	－	－	－	52	52	100.0	52	4,097
10月	26	26	100.0	26	26	26	100.0	26	－	－	－	－	52	52	100.0	52	3,757
11月	26	26	100.0	26	26	26	100.0	26	－	－	－	－	52	52	100.0	52	3,694
12月	23	23	100.0	23	23	23	100.0	23	－	－	－	－	46	46	100.0	46	4,651
31年 1月	24	16	66.7	16	24	15	62.5	15	－	－	－	－	48	31	64.6	31	1,862
2月	24	24	100.0	24	24	24	100.0	24	－	－	－	－	48	48	100.0	48	5,060
3月	27	27	100.0	27	27	27	100.0	27	－	－	－	－	54	54	100.0	54	3,056
計	210	198	94.3	198	210	197	93.8	197	0	0	0	0	420	395	94.0	395	30,570
構成比				20.9%				20.8%				－				41.7%	
29年度実績	200	289	89.5	179	199	137	68.8	137	300	237	79.0	237	699	553	79.1	553	

ウ　合計

利用率	利用件数合計	入場者数合計
%	件	人
－	－	－
－	－	－
－	－	－
52.1	27	646
58.7	116	10,044
60.5	116	6,136
58.0	113	7,018
65.5	121	6,341
65.0	112	7,104
56.5	104	4,518
67.9	121	8,731
57.7	118	5,659
60.8	948	56,197
	100.0%	
63.7	1,244	65,556

（注）　1　利用日数は、１日に複数の利用（例：午前１件と午後１件）があった場合でも１日としている。
　　2　利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
　　3　構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。

(2) 催物別利用状況

利用月	催物別利用件数										計
	映画会	芸術文化講演会	芸術文化に関する会議	展覧会	展覧会表彰式	国際会議	教育学術会議	研修	その他の講演会	その他の会議	
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
30年 4月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月	－	－	9	12	－	－	－	－	－	6	27
8月	2	1	23	44	－	－	－	－	7	39	116
9月	－	12	30	52	－	－	－	－	8	14	116
10月	6	4	24	52	－	－	－	3	8	16	113
11月	4	6	30	52	－	－	－	3	12	14	121
12月	－	1	27	46	－	－	－	1	7	30	112
31年 1月	－	24	29	24	－	－	－	5	7	15	104
2月	－	12	21	48	－	－	－	2	10	28	121
3月	－	1	39	54	1	－	－	1	7	16	119
計	12	61	232	384	1	0	0	15	66	178	949
構成比	1.3%	6.4%	24.4%	40.5%	0.1%	0.0%	0.0%	1.6%	7.0%	18.8%	100.0%
29年度実績	33	40	319	536	7	0	0	12	86	211	1,244

（注）　1　利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
　　2　構成比は、全体に占める割合（%）を、小数点第２位以下を四捨五入して示している。

事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。